

事前評価個表

整理番号	74
------	----

地域（地区）名	よしのがわ 吉野川流域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	徳島県	対象市町村	徳島市ほか15市町村
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>吉野川森林計画区は、徳島県の北部に位置し、北は香川県と境し、東は紀伊水道、西は愛媛、高知両県と接し、南は剣山より東西に延びる諸連峰により那賀・海部川計画区と境している。</p> <p>本計画区の総面積264,730haのうち、森林面積は184,043ha（森林率70%）であり、その内訳は国有林12,909ha、民有林171,104haとなっている。また、計画区内の林道延長は1,159,000mで公道等を含む林内道路密度は18.0m/haとなっており、このほかに林道の支線としての作業道が整備されている。</p> <p>一般民有林は、スギ、ヒノキを主体とした人工林が98,037ha（人工林率58%）であり、うち10歳級以上のものが45%を占め、森林資源は本格的な利用の時期を迎え間伐から主伐へと向かっている。しかし、このような森林の中にも森林整備の担い手不足や木材価格の低迷、森林所有者の代替わりなど様々な要因による放置森林が多くあり、これらの未整備森林の解消のため整備が必要である。</p> <p>このため、吉野川流域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を推進する必要がある。</p> <p>本計画に基づき、森林の配置や年齢構成に応じ森林整備や路網整備を行うことによって、森林の有する多面的機能の発揮が可能となる。また、これらの整備に関する地元関係者の意欲は高く、コスト縮減を踏まえて実施することとしている。</p> <p>なお、他産業との連携等に関しては、農耕地の多くが森林に近接していることから、農林業の振興、農林道の整備において関係部局等との連携を図っている。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：8,980ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：2,956,923千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 7.28 (総便益(B) = 47,100,403千円、総費用(C) = 6,464,903千円)</p>
評価結果	<p>必要性：整備対象森林の状況、森林整備の緊急性等から当該計画の必要性は高いと判断される。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林施業を効率的に推進することにより公益的機能の発揮と木材の安定供給が図られ有効である。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備が適切に計画されている。また、効率性、有効性も認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

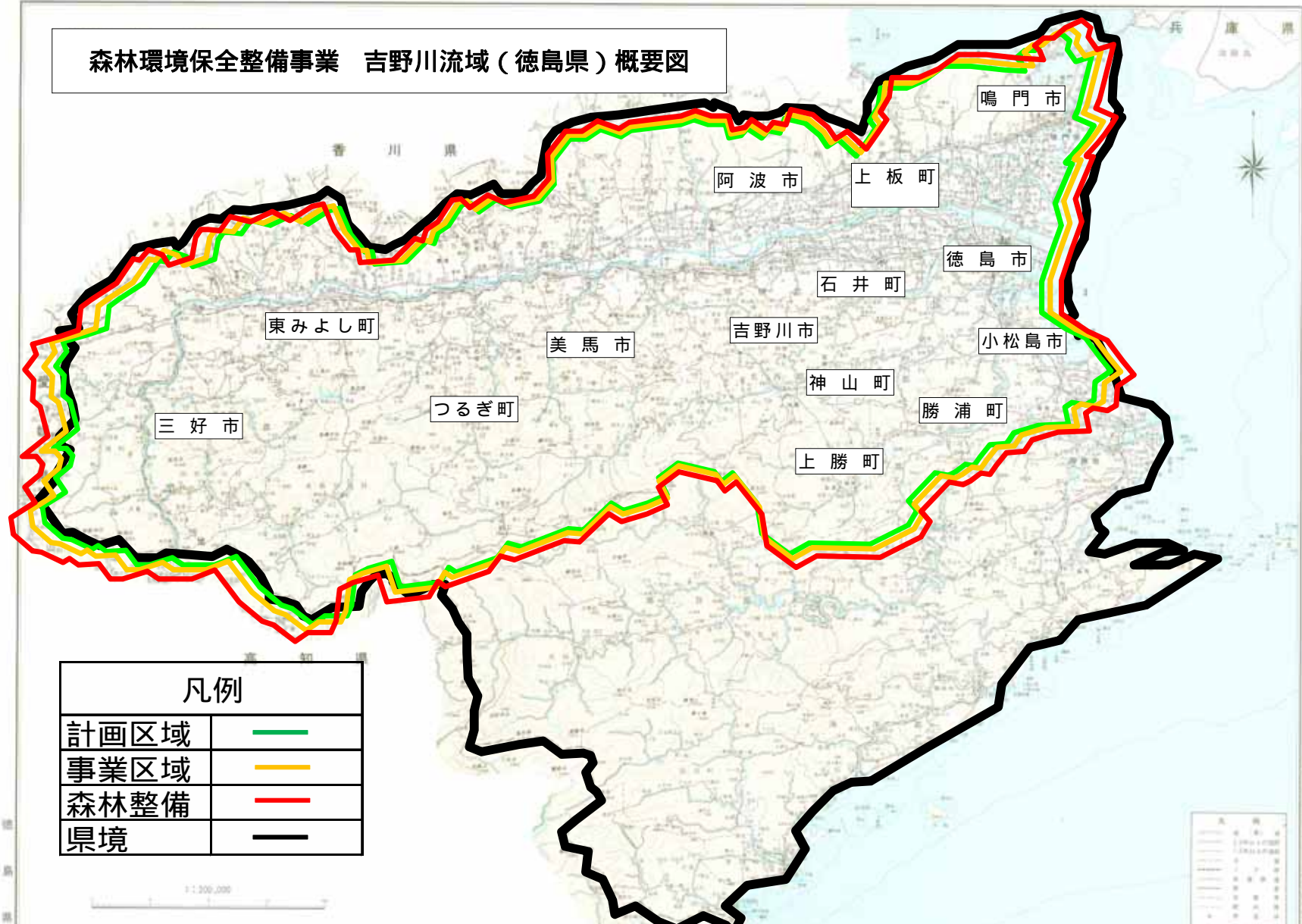
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 吉野川

徳島県
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	8,168,639	
	流域貯水便益	5,881,523	
	水質浄化便益	9,908,283	
山地保全便益	土砂流出防止便益	17,199,642	
	土砂崩壊防止便益	263,197	
環境保全便益	炭素固定便益	627,245	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	5,051,874	
総 便 益 (B)		47,100,403	
総 費 用 (C)		6,464,903	
費用便益比	$B \div C = \frac{47,100,403}{6,464,903} = 7.28$		

森林環境保全整備事業 吉野川流域（徳島県）概要図



三好市

東みよし町

つるぎ町

美馬市

阿波市

上板町

石井町

吉野川市

神山町

上勝町

勝浦町

小松島市

徳島市

鳴門市